

平成二十七年一月の作品（一月九日（金））

於 文京区民センター 3階E会議室

屠蘇つぐ注ぐは家長の役目畏かしこめり （二江）

お降さがりや一人の暇を持て余し （隆治）

ビル陰に人混みで知る七福神 （正雄）

初買ひの夢のふくらむ銀座かな （貴美）

甚兵衛じんべい鮫いざめゆったりゆたり年あらた （奉男）

かつて我丹前を着て文机 （前歩）

焰ほむら立つ鎮守の森や初詣 （孝昭）

亡き母のをりし廚や日脚のぶ （太郎）

水仙の茎折れてなほ風の中 （平六）